

産技研NEWS ちえのわ

No. 25

令和2年度 第2号

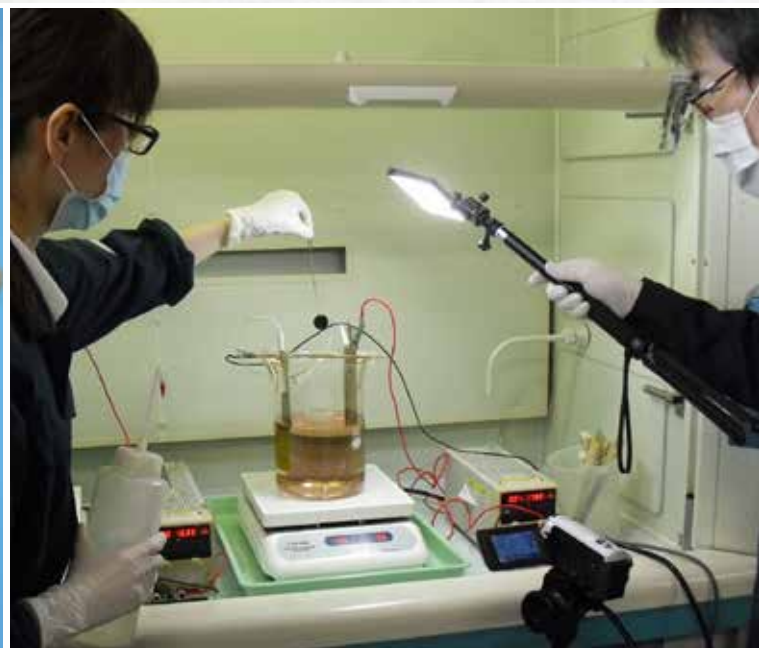
2020.10 Oct.

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 機関誌

<http://tc-kyoto.or.jp/>

CONTENTS

- 02 特集1
● 京都ラボフェス@産技研Web ～おうちで楽しむ産技研～
- 04 特集2
● 京都市産業技術研究所 令和元年度のご利用に関するアンケート(顧客満足度調査)結果について(一部抜粋)
- 06 事業報告
● 京都ものづくり協力会会長賞の授与式を執り行いました
● 「新しい生活スタイル」に対応した知恵創出“目の輝き”認定企業の取組
● 京都ものづくり協力会新会長のご紹介
- 07 研究会紹介
● 鍍秀会
● 京都先端技術研究会
- 08 研究紹介
● ラオス・ルアンパバーン国立王宮博物館仏像修復所での文化財修復
- 09 若手作家・職人インタビュー記事
ポータルサイト京もの担い手プラットフォーム 京もの担い手メンバー募集中!
- 10 知恵産業融合センター成果事例紹介
● クロム系硬質皮膜用除膜液の開発
- 11 機器・施設紹介
● 卓上型核磁気共鳴装置 ～有機材料分析の最初の第一歩～
- 12 事業報告
● 「京都×能装束」文化ものづくりプロジェクト 新商品展示販売会を開催
お知らせ
● 依頼試験の郵送受付を実施しています



今年は、動画配信により
オンラインで開催しました！

京都ラボフェス@産技研Web

～おうちで楽しむ産技研～

京都市産技研では、研究所を市民の皆様公開するイベント「京都ラボフェス@産技研」を毎年夏休みに開催し、小学生や親子連れなど多数の皆様に、様々な体験メニューを楽しんでいただいています。

京都市産技研が現在の場所に移転してからは 10 回目となる恒例のイベントですが、今年は「ウィズコロナ」時代を見据えた新たな取組として、素材の製造工程や身近なものを使って自宅のできる実験など、「ものづくり」を楽しんでいただける動画を小学生向けに作成し、オンラインで配信する形で開催しました。

また、動画の配信に合わせて、京都市産技研のホームページ上に特設サイトを開設し、動画に関連したクイズに挑戦してもらうなど、視聴者にも参加していただけるイベントとしても実施しました。

※ 現在は、クイズへの応募申込を終了しております。



各チームによる動画撮影の様子を一部ご紹介します。



作成した11本の動画は、YouTubeの「京都市産業技術研究所」チャンネルで配信しています。京都市産技研ホームページに開設した動画配信サイトからご覧いただくことができますので、是非ご視聴ください。

① おうちでできる染物をやってみた！

絞染編



② おうちでできる染物をやってみた！

模様染編

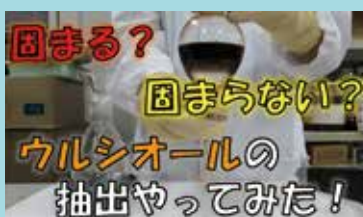


③ プラスチックに空気を混ぜてみたら・・・, 身近にある発泡プラスチック！



身の回りの発泡プラスチック

④ ウルシオール抽出
～漆が固まる秘密を探る～



⑤ 手洗いとアルコール消毒で
菌はどれくらい減るの？



⑥ 生パイナップルのゼリーは
固まらない？

【酵素の科学】



⑦ 多彩な京焼・清水焼ができるまで「釉薬」を科学で
使いこなす！



⑧ のぞいてみよう！
金属ナノ粒子の世界。



⑨ おうちで♪
織物を織ってみよう



⑩ めっきで金メダル
～家電から金をリサイクル～



⑪ 伝統の和柄で
「ぬり絵」にチャレンジ！



【動画配信サイト】
<http://tc-kyoto.or.jp/Labofes.html>
(QRコードはこちら)



京都市産業技術研究所

令和元年度のご利用に関するアンケート

(顧客満足度調査) 結果について (一部抜粋)

この度、京都市産技研では、「令和元年度のご利用に関するアンケート (顧客満足度調査)」を実施し、調査結果を取りまとめました。

本調査は、令和元年度の1年間に、製品の開発・改良などの技術相談、材料等の品質・性能試験や成分分析、共同研究等で京都市産技研をご利用いただいた方々の「目的達成度」や「利用満足度」のほか、「利用実態」、「支援ニーズ」等を把握し、今後の業務運営や支援方法の改善にいかすことを目的に実施したものです。

令和元年度の利用における「利用満足度」については、各項目ともに85%以上のご利用者様から「満足できた」(「十分満足できた」、「ある程度満足できた」の合計)とする回答をいただくことができました。

なお、調査結果の全文は京都市産技研ホームページ (<http://tc-kyoto.or.jp/>) に掲載しております。

調査概要

*小数点以下第1位を四捨五入しているため、
合計値が100%にならない場合があります。

1 調査対象 1,535名

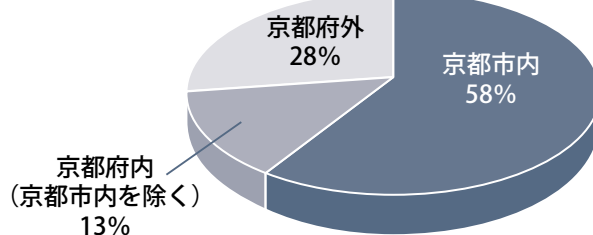
*平成31年4月1日から令和2年3月31日までの間に、京都市産技研の各事業(「技術相談」、「依頼試験・分析」、「機器利用」、「共同研究・受託研究」、「ORT事業」、「知恵産業融合センター事業」)を利用された方

2 回答数 679名
(回答率 44.2%)

3 アンケート結果概要

●所属される事業所の所在地

アンケート回答者の所属事業所の所在地は、「京都市内」(58%)が最も多く、次いで「京都府外」(28%)、「京都府内(京都市内を除く)」(13%)の順



●目的達成度

(目的達成度: 技術相談や依頼試験・分析等を利用された際の目的の達成度)

回 答	技術相談	依頼試験・分析	機器利用	共同研究・受託研究	ORT 事業	知恵産業融合センター事業
十分達成できた	36%	52%	50%	40%	47%	23%
ある程度達成できた	53%	41%	44%	47%	44%	50%
わずかしこ達成できなかった	8%	6%	4%	10%	8%	18%
達成できなかった	3%	2%	1%	3%	0%	10%

●利用満足度

(利用満足度: 技術相談や依頼試験・分析等を利用された際の職員の対応や料金などを含めた総合的な満足度)

回 答	技術相談	依頼試験・分析	機器利用	共同研究・受託研究	ORT 事業	知恵産業融合センター事業	研究会活動
十分満足できた	50%	56%	59%	54%	53%	35%	37%
ある程度満足できた	44%	39%	39%	40%	44%	50%	57%
わずかしこ満足できなかった	4%	4%	2%	3%	3%	3%	5%
満足できなかった	1%	1%	1%	3%	0%	13%	1%

●経済効果

京都市産技研を利用したことによる経済効果は、「0～50万円程度」が最も多く60%を占めました。一方で、1億円以上という回答も4件ありました。

回 答	件数	割合
0～50万円程度	362	60%
50万～100万円程度	105	17%
100万～300万円程度	61	10%
300万～500万円程度	29	5%
500万～1,000万円程度	20	3%
1,000万～3,000万円程度	14	2%
3,000万～5,000万円程度	6	1%
5,000万～1億円程度	6	1%
1億円～	4	1%
合 計	607	100%

【試算】

アンケート結果を元にした経済効果額

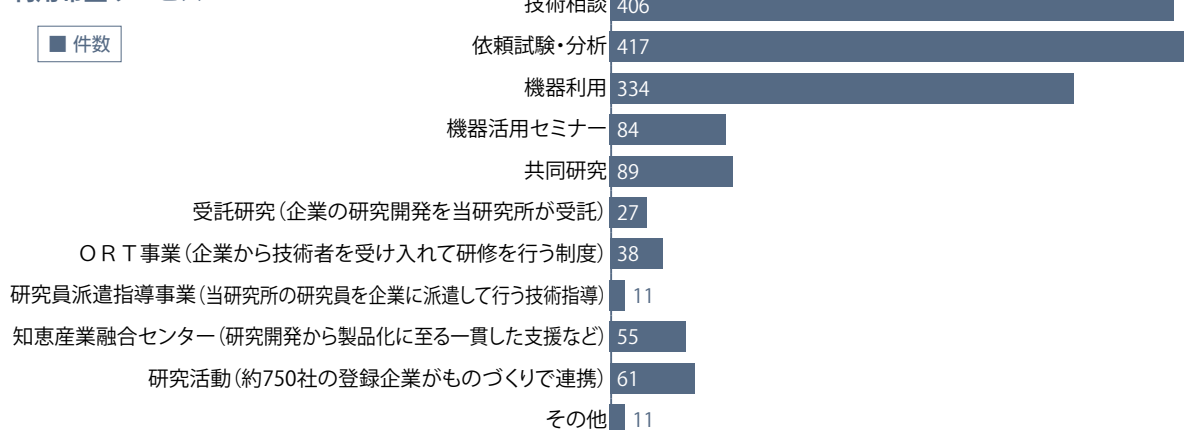
1企業当たりの経済効果額	約318万円
産技研利用者（1,535名） 全体で換算した経済効果額	約48億8,130万円

【経済効果の具体的事由】

- ・当社特許技術の開発に役立った。
- ・製品開発に成功した。売上はそこそこだったが、製品を開発したという実績は弊社の評価にもつながり、他の商品の売上に貢献している。
- ・O R T事業により、技術習得に掛かる時間が短縮され、人件費等のコスト減につながった。
- ・不良品のさらなる流出を防ぎ、損害発生を回避できた。 など

●京都市産技研への関心や要望

利用希望サービス



要 望



【具体的な要望等】

- ・正午から午後1時の間も利用が可能になれば非常に助かる。
- ・他の研究機関が持っていない装置を導入していただけると嬉しい。
- ・素晴らしい専門家や機材等を低価格で利用できることが周知されていないのが残念だ。積極的なPRが必要だと思う。
- ・高度な測定機器が利用できるため、大学の若手研究者にとって大変ありがたく、今後も使用させていただきたい。 など

京都ものづくり協力会会長賞の授与式を執り行いました

日頃の研究活動等を通じて顕著な研究成果等を挙げた京都市産技研職員に対して、令和2年7月3日（金）に京都ものづくり協力会会長賞が渡邊隆夫会長から授与されました。



（前列左から）小田主席研究員、渡邊会長、西本理事長、清野次席研究員
（後列左から）本田主席研究員、廣澤主席研究員、廣岡研究主幹

■ 受賞した研究内容 ■

「化粧用具の客観的な使用評価法の確立」

製織システムチーム 小田明佳、廣澤寛、本田元志

化粧用具を使用した際に肌に与える力学特性を客観的に評価し、獣毛ブラシの優れた使用感を有した合成繊維ブラシの開発に寄与するなどの成果を挙げました。

「清酒酵母『京の恋』の開発」

バイオ系チーム 清野珠美、廣岡青央

香り高く甘酸っぱい味わいが特徴の清酒酵母「京の恋」を開発しました。今年の3月から、「京の恋」を使用した日本酒が京都の酒造会社から販売されています。

「新しい生活スタイル」に対応した知恵創出“目の輝き”認定企業の取組

京都市からは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、「三つの密の回避」など、感染しない、他の人にうつさないための「新しい生活スタイル」の徹底への協力が依頼されています。

京都市産技研の「知恵創出“目の輝き”認定」を受けられた企業も、この「新しい生活スタイル」に対応した商品の開発に取り組まれています。

「懐紙」を使った商品を展開する株式会社辻商店では、懐紙1枚で作れるブリーツマスクのキットを開発し、作り方をホームページで公開されています。

黄桜株式会社及び齊藤酒造株式会社では、消毒に使える高濃度エタノール製品を開発されました。



株式会社辻商店の
懐紙マスクキット



高濃度エタノール製品
左：黄桜株式会社、右：齊藤酒造株式会社

京都ものづくり協力会新会長のご紹介

平成25年の設立以来、京都ものづくり協力会を牽引いただきました渡邊隆夫様が7月に書面開催した総会にて会長を退任され、京都市合成樹脂研究会委員長の宮本研二様が会長に就任されました。

事務局を務める京都市産技研としても、新体制の下、伝統から先進まで多様な京都産業の発展を進めてまいります。



宮本研二新会長

手織体験・きもの体験（要予約） 「西陣男もの専科」新設

わが国最初の学校型きもの教室「西陣和装学院」入門コース（3ヵ月）無料

西陣織会館 075-451-9231（10:00～毎日） 西陣織工業組合 075-432-6131（8:30～平日）

〒602-8216 京都市上京区堀川通今出川南入る <http://www.nishijin.or.jp/>

鍍 秀 会

鍍秀会(としゅうかい)は、秀れためっき、秀れた技術者、秀れた会社・業界を志し、「鍍金に秀でる会」として、昭和41年(1966年)10月に設立されました。同会は、京都府鍍金工業組合の青年部組織であり、京都のめっき及び表面処理関連企業の若手経営者及び技術者等から構成されております。令和2年4月現在の会員数は、正会員20名、賛助会員企業12社となっており、めっきや表面処理に関する勉強会をはじめ、経営、環境、営業、さらに先端技術等に関する幅広い分野の講習を開催しています。また、工場見学会や研修旅行なども行っています。

昨年度、同会の活動として、京都市産技研において、次の2件の講演会が開催されました。基礎技術講座として、ユケン工業株式会社の岡本氏から「各種素材別のめっき前処理に関する基礎的な内容及び応用」、さらに、先端技術講座として、



令和元年6月 基礎技術講座の様子



令和2年2月 先端技術講座の様子

京都大学の北田氏から「濃厚金属ハロゲン化合物水溶液からの電析」をご講演賜り、多くの方にご参加いただきました。

昨今、当該業界を取り巻く環境は、大きく変化し、その変化のスピードも非常に速くなっています。当研究会は、新たな領域にチャレンジし、若手後継者を育成するフィールドとなることで、業界の持続的な発展を実現するよう努めてまいります。

京都先端技術研究会

京都先端技術研究会は、昭和60年4月に京都市における先端技術の振興発展を期するために、会員相互及び京都市産技研の協力による技術の交流・研究によって会員の事業展開を図ることを目的として設立されました。本研究会の会員企業の業種は、化学工業、機械システム、金属関係など多岐にわたっています。「協創、協働、信頼」を基本として京都市産技研と共に情報を発信し、業種や技術分野の枠を超えた技術連携を進めることにより会員企業の発展を目指しています。

講演会、技術セミナー(機械加工の基礎、全5回)などの活動を行っており、近年では、異業種の集まりを強みとして会員相互の更なる結束を深めるために、会員企業の工場見学会や技術交流会を行っています。



総会記念講演会の様子



会員企業見学会の様子

それぞれの技術分野だけでは知ることができない情報を共有することで、「ローカルルール」ととらわれない柔軟な頭を持って、先行き不透明な世の中でも、各会員企業がそれぞれの分野のパイオニアを目指して、新たな産業技術の発展に寄与できるようアプローチしているところです。

最近の主な講演会

X線回折技術が提案されて100年、X線による機能物質構造解析技術の新たな展開	講師：京都大学工学研究科	松原 英一郎 氏
超々ジュラルミンの開発の歴史と今後の航空機用アルミニウム合金開発動向	講師：超々ジュラルミン研究所	代表 吉田 英雄 氏
「はやぶさ2」の先端技術とそれがもたらす新たな世界について	講師：JAXA 宇宙科学研究所	准教授 山田 哲哉 氏

不安な胸に、やさしくありたい。

島津製作所が開発した、乳がん検査技術。
検出器ホルダーに乳房を入れるだけで、
小さな乳がんの兆しまで見分ける
世界最先端技術です。

世界に答えを。 **SHIMADZU**
Excellence in Science

乳房専用PET装置

ラオス・ルアンパバーン国立王宮博物館 仏像修復所での文化財修復

研究フェロー 大藪 泰

水や液体を意味するnam(ナム)。ウルシの木を意味するkian(キャン)。ウルシの木から浸出した樹液は、だからnam-kian(ナムキャン=漆)と呼ばれる。ラオスの美しい言葉だ。ナムキャンにkhi-thao(キタオ=菩提樹の灰)を練り込んで、カモク(khamouk)を作る。カモクとは漆を用いたラオスの伝統技法である。仏像の模様や寺院の装飾に用いる。その配合の違いにより粘度が異なり、仏像の欠落部等を埋めるパテとして、あるいは型に押し込み螺髪(らっぽう)(図1)等を作る。

ラオスは過去から漆工の長い歴史がある。しかし、ベトナム戦争や内戦を含んだ1〜3次のインドシナ戦争で漆文化は衰退し、特に仏像の焼失や破壊で、世界的に貴重な文化財が失われた。これら仏像は修復されずに数多く残っており、修復することは世界的な文化財を守ると同時に、ラオス漆文化の、ひいてはアジア漆文化の再興にも繋がる。

身延山大学は、ラオス情報文化観光省との間に世界文化遺産ルアンパバーン地区の仏像修復に関わる調印を交わし、仏像の修復を現地の修復者(ビエンチャン工芸大学の教師やルアンパバーン国立王宮博物館仏像修復所技術者)と共同で

「ラオス世界遺産仏像プロジェクト」を20年以上継続・実施している。そして、本プロジェクトの大切な任務のひとつに、カモクについての研究がある。

本プロジェクトは京都市産技研の文化財修復の活動を知り、カモクの製造についての相談をされた。そこで私は本プロジェクトからの命令を受けて、令和元年2月28日〜3月

8日と令和2年2月23日〜3月6日の2度にわたり、王宮博物館内仏像修復所(図2)でビエンチャン工芸大学の教師やルアンパバーン国立王宮博物館仏像修復所技術者達とカモクについての議論や実験を行った。

カモクは加熱(150℃以上)した漆を使用する。漆は加熱することで徐々に脂質成分が熱重合し粘度を上昇させる。熱重合し

た漆は、その程度(脂質成分の重合度)にもよるが、側鎖の2重結合の存在により、空気中の酸素により自動酸化重合タイプの塗料となる。すなわち、カモクは酵素ラッカーゼの働きによる通常の漆の硬化機構でなく、酸化重合による非常にゆっくりとした硬化機構で、充填剤を多量に含有し、従って酸素も内部まで行き届き、厚塗りや成形物としての使用が可能となる。漆をしっかりと加熱することで、脂質成分の重合度を上げ、熱重合漆自身の乾燥性を向上させる。結果的には、カモクの乾燥性が向上する。また、さらに、熱重合漆自身の粘度が高くなるため、同じ粘度のカモクとした場合、混練するキタオの量が少ない。つまりカモク自身の割れ発生の確率が低くなる等、実験や試作より明らかになっている。

今後は、カモク製造各工程のマニュアル化を行い、カモクの製造方法を現地の修復者の方々へきっちりと技術移転を行わなければならない。



図2 ルアンパバーン国立王宮博物館
仏像修復所

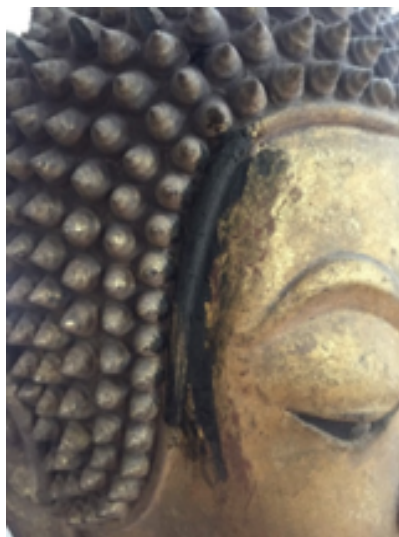


図1 カモクで制作した螺髪

IWC | International Wine Challenge

GREAT VALUE AWARD

グレートバリュー・アワード

GOLD MEDAL

ゴールド・メダル

同時受賞

いつの時代も愛される、
うまみが広がる ふくよかな味わい

月桂冠 **特撰**

TOKUSEN

飲酒は20歳になってから。お酒はおいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与える恐れがあります。飲酒運転は絶対にやめましょう。



若手作家・職人インタビュー記事

バックナンバー
公開中！



京都市産技研では、各業界で活躍されている伝統産業技術後継者育成研修修了生のインタビュー記事をホームページに掲載しています。平成 28 年 11 月からはじまり、現在 15 名の皆さんをインタビューしました。

現場での取材を通して、様々な角度から“ものづくり”の魅力を発信することで、若手作家・職人の活動をPRするとともに、これから作家・職人を目指す若者にその魅力を伝えていきたいと考えています。

これから作家・職人を目指す方へ、若手作家・職人の皆さんが来し方行く末を熱く語っていますので是非ご覧ください！



ポータルサイト 京もの担い手プラットフォーム

京もの担い手メンバー募集中！

京都市産技研では、京都の伝統産業製品「京もの」の製造に携わる若手担い手を対象として、支援情報の提供、PR・プロモーション、製品開発、販路開拓等、幅広く支援するポータルサイト「京もの担い手プラットフォーム」を開設しています。

メンバー登録いただくと、プロフィールや作品のご紹介、展示会の告知場として本サイトをご利用いただけますので、ご応募お待ちしております！

※メンバー資格：京ものの製造に2年以上携わる 45 歳以下（登録申請年度の4月1日時点）の職人や作家で、活動拠点又は取引先が主に京都府内にあり、将来的に継続して京ものの製作に関わる業務に従事する意思のある方。



プラットフォーム
はこちら



メンバー登録
はこちら



知恵産業融合センター 成果事例紹介

知恵産業融合センターでは、京都市産技研の技術支援により試作、製品化に至った事例や「知恵産業」をキーワードとする「伝統技術と先進技術の融合」、新たな「気づき」による新技術・新製品開発につながった事例を成果事例集に取りまとめて、広くPRしています。京都市産技研との共同開発により実用化に至った事例をご紹介します。

23

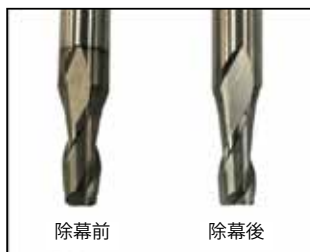
クロム系硬質皮膜用除膜液の開発



佐々木化学薬品株式会社／京都市産技研 金属系チーム

事業概要

- 金属材料の価格高騰や環境への配慮に起因する金属材料のリユースに係るニーズの高まりに対し、金属材料の表面をコーティングしている硬質皮膜を、従来品よりも短時間で除膜できる除膜液を開発しました。開発製品は、母材金属を傷めずに除膜でき、室温での除膜が可能（除膜時の加温が不要）、毒物・劇物及び危険物に該当しないことから、薬液の保管・管理が容易という優れた特徴があります。

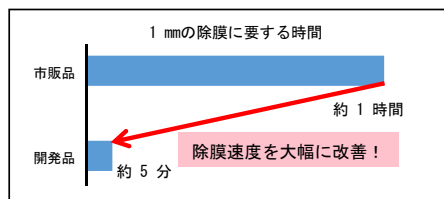


京都市産技研との関わり

- 金属材料組成に含まれる純金属の溶解電位データを蓄積し、皮膜成分のみを溶解させる浸漬液の組成を検証することで、除膜時に母材金属の腐食を最小限にする防食技術を確立
- トレードオフとなる、産技研の防食技術と佐々木化学薬品株式会社の除膜技術を組み合わせながら、最適な除膜時間となる除膜液組成を設計

成果物と今後の事業展開

- 切削工具や金型を製造する金属材料メーカーや硬質皮膜を被覆するコーティングメーカーを中心に、幅広い業種への事業展開に取り組みます。



当社は創業より技術の革新を続け、お客様と共に成長してきました。近年は環境面に配慮した薬品開発に注力しています。その中で誕生したクロム系硬質皮膜用除膜液はお客様の金属材料リユース実現の要望から京都市産業技術研究所と共同開発しました。これからは新しい挑戦によって世の中の社会的課題の解決がより一層望まれています。企業と京都市産業技術研究所の連携により、素晴らしい成果が誕生することを期待しております。



【企業概要】 企業名 佐々木化学薬品株式会社 所在地 京都市山科区勤修寺西北出町 10
電話 075-581-9141 U R L <https://www.sasaki-c.co.jp/>
事業内容 試薬及び化学工業薬品の開発・製造販売

佐々木化学薬品株式会社
代表取締役
佐々木 智一氏



いつでも、あなたの
ビジネスのそばに。

総合力と専門性であらゆる
ビジネスシーンをサポート

創業支援

海外ビジネスサポート

補助金・助成金

ビジネスマッチング

京都中央信用金庫

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル

TEL 075-223-2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

URL www.chushin.co.jp

卓上型核磁気共鳴装置

～有機材料分析の最初の第一歩～

卓上型核磁気共鳴装置

装置：Pulsar HFC

【オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社製】

機器の内容

核磁気共鳴（以下、NMR）装置は、強力な磁石を用いて、主に有機物の結合状態を定性的及び定量的に解析できるため、それら化合物の構造決定に欠かせない装置です。（図1：オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社製 Pulsar HFC）。測定には、サンプルを溶解させる重溶媒*が必要となります。測定時間は、1測定あたり10～30分程度です。測定後、得られたデータ（ピーク）を基に、定性的・定量的な解析を行います。

*重溶媒：溶媒分子の水素原子を重水素に置き換えた溶媒

機器の仕様

共鳴周波数：60 MHz (1.4 T)
測定核種：¹H, ¹⁹F, ¹³C
5 mm 径 NMR チューブを使用
重水素ロック、2D、緩和測定が可能
ソフトロック機能付き

機器の用途

近年、分析技術の発展に伴い、より簡便な分析機器が開発されています。今回導入した NMR 装置は、有機物の分析において、構造解析を最も効果的に行うことができる装置です。各種高分子、接着剤、食品及び製薬などの幅広い分野のサンプルを測定対象としています。測定に際し、重溶媒に溶解できるという条件はありますが、固体・液体サンプルの分析が可能です。また、微量（10 mg 程度）のサンプルで分析できるため、小ロットの試作や貴重なサンプルの分析にも適しています。

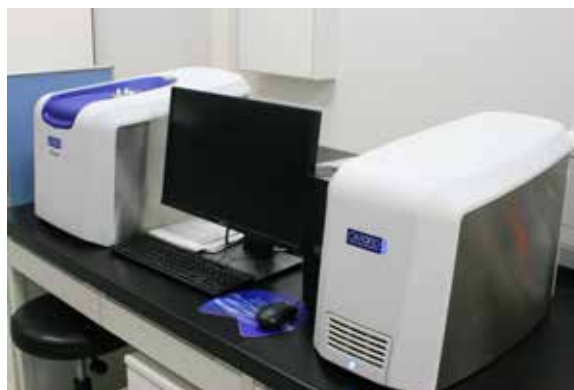


図1 装置外観

測定の一例として、漆の主成分であるウルシオールを重クロロホルムに溶解させ、NMR 測定した結果を図2に示します。化学シフト値（各化合物中の原子核の状態を表す）1～4 ppm 及び5～7 ppm にウルシオールに特徴的なピークが見られています。

サンプルによっては、分析が難しいケースもありますが、測定を希望される方は、高分子系チームまでご相談ください。

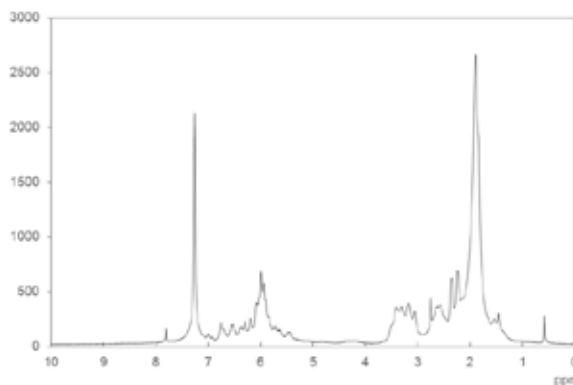


図2 漆の主成分であるウルシオールのNMR測定データ

担当チーム：高分子系チーム
使用料・手数料：要相談

創業 事業承継

のご相談は京信へ

京都信用金庫

創業専用ホットライン

☎0120-279-642（平日9:00～17:00）

f 京都信用金庫 創業
@kyotoshinkin.entre



展示販売会場

「京都 × 能装束」文化ものづくりプロジェクト 新商品展示販売会を開催 於 京都伝統産業ミュージアムMOCADギャラリー 8月7日(金)～11日(火)

京都市産技研では、「京都×能装束」文化ものづくりプロジェクトとして昨年8月末から林原美術館所蔵の安土桃山時代の能装束を活用した商品開発に取り組みました。このたび成果披露として京都伝統産業ミュージアム MOCAD ギャラリーにおいて展示販売会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大のために当初予定よりも4ヶ月遅れの開催となりましたが、感染防止対策を行ったうえで、プロジェクト参画企業4社[(株)亀田富染工場、秀和(株)、(株)高岡、宮井(株)]と協力し開催を実現できました。今回の展示商品は、プロジェクトの統一感を醸し出す、共通の柄を用いたメインラインと各参画企業が自社の商材をいかすために選定した柄を用いたオリジナルラインで構成しました。4社合計でメインラインが10種類、オリ

ジナルラインが14種類の商品をラインナップしました。4社の商品群を一堂に集めて展示販売する初めての機会でもあり、コンセプトテーマの「桃山モード。それは凛とした可憐さ。」を意識して一つ一つの商品が際立つように展示を心掛けました。

コロナ禍かつ酷暑の状況下でしたが、5日間で188名にご来場いただきました。来場者の方々には能装束が持つ感性と文化的価値を商品デザインにリファインした新たな商品群であることをお伝えし、この趣旨に共感していただけたものと手応えを感じております。

今後も、引き続き文化的価値をいかすものづくりである「桃山モード」の商品開発に取り組んでまいります。

(デザインチーム)

お知らせ

依頼試験の郵送受付を実施しています

京都市産技研では、これまで依頼試験の受付に際し、利用者の皆様に来所いただき依頼内容を確認しておりましたが、皆様のご要望にお応えするため、「新しい生活様式」を取り入れた業務運営の一環として、本年6月からご要望に応じて依頼試験の郵送受付を開始しております。

- ※ ご依頼が対応可能かを事前に確認する必要があるため、郵送される前に必ず京都市産技研（総合相談窓口又は研究チーム）までご連絡いただきますようお願いいたします。
- ※ 郵送に係る経費は、利用者の皆様にご負担いただきます。